

抗 HIV-1 逆転写酵素抗体、ウサギ抗血清

65-001 100 µl

保存: 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存

免疫原: 大腸菌で発現させて精製したリコンビナント HIV-1 逆転写酵素

形状: 0.09%アジ化ナトリウム添加抗血清

用途

1) HIV-1 逆転写酵素の検出や定量を目的としたウエスタンブロット法や ELISA 法に使用できる。

背景: HIV-1 逆転写酵素は、エイズウイルス HIV-1 由来の RNA 依存性 DNA ポリメラーゼで、RNaseH 活性を併せて持ち、エイズウイルスの増殖に不可欠な酵素である。

本品は、HIV-1 ウイルスゲノム (サブタイプ B (1)) の *pol* 領域にコードされている逆転写酵素遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したリコンビナント逆転写酵素をウサギに免疫して作製した (2)。

本品を抗血清として用いたウエスタンブロットにおいて、エイズウイルス感染細胞抽出液中に HIV-1 逆転写酵素の 2 つのサブユニット(66 kD, 51 kD)が検出された (図 1)。

データリンク GenBank: [AAA44988.1](https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nuclot/AAA44988.1)

文献

1. Adachi A *et al* "Production of acquired immunodeficiency syndrome-associated retrovirus in human nonhuman cells transfected with an infectious molecular clone." *J Virol* **59**: 284-291(1986) PMID: [3016298](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/3016298/)
2. Saitoh A *et al* "Overproduction of human immunodeficiency virus type I reverse transcriptase in *Escherichia coli* and purification of the enzyme." *Microbiol. Immunol.* **34**:509-521 (1990) PMID: [1699113](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/1699113/)

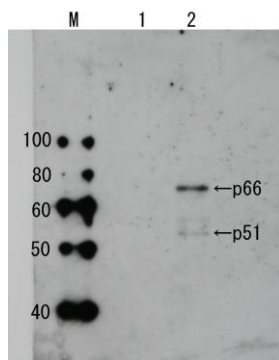


図 1 抗 HIV-1 逆転写酵素抗体を用いたウエスタンブロット法による逆転写酵素抗原の検出
レーン 1: MT4 細胞抽出液
レーン 2: HIV-1(LAI 株)感染 MT4 細胞抽出液
抗血清は 2,500 倍希釈して使用